

NO.424

平成 25 年度  
三田市人権ポスター入賞作品



# 人権さんだ



人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。  
問い合わせ＝まちづくり部人権推進課  
(559-5081・5148 FAX563-3611 e メールアドレス jinken\_u@city.sanda.lg.jp)

八景中学校 2 年 (前年度)  
坂本 里奈さん

## 三田幸せプロジェクト ～明るい未来へ～

**開催日 8 月 24 日 (日) 参加無料** ※どなたでも参加できます。話を聴くだけでも OK!

「三田幸せプロジェクト～明るい未来へ～」は、三田市同和教育研究協議会(略称:三同教)の中心事業として毎年 8 月に開催しています。様々な人権課題について、話を聴き、語り合い、学び合い、人としてよりよい生き方を確かめています。あなたも、互いの生き方を確かめ合う中で、人権でつながる仲間を広げていきませんか。そして、誰もが幸せを感じる人権のまちづくりをすすめていきましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

### 分科会概要

【分科会①・②・③】  
【分科会④・⑤】  
【分科会⑥・⑦】

三田市総合福祉保健センター  
ウディタウン市民センター  
広野市民センター

※一時保育または手話通訳・要約筆記が必要な人は、7 月 25 日(金)までに三同教事務局(559-5148)まで申し込みください。

### 午前の部 (9 時 45 分～12 時 15 分)

### 午後の部 (13 時 30 分～16 時)

#### 分科会① 障がいのある人と人権

**報告者** 田中 加代子さん(トークゆうゆう)  
森 菜緑さん(神戸医療福祉専門学校・三田校教員)  
柿本 理津子さん(音楽療法士)  
**テーマ** コミュニケーション障がいについてみんなで考えましょう

みなさん、「かさじぞう」のお話を知っていますか。おじいさんとおばあさんとお地蔵様が登場します。しゃべろーよ音楽隊が、このお話をオリジナルティあふれた創作劇に仕上げました。優しさ、楽しさ、笑いと涙ありのお芝居をお楽しみください。  
事故や病気で「言葉」や「コミュニケーション」に問題が残り、社会的に孤立したり理解を得ることが難しい状況にある人たちがいます。地域活動支援センター「トークゆうゆう」のメンバーは「創作かさじぞう」という音楽劇を創り、社会に対して理解と認知をめざして全国で活躍しています。今回は、「歌あり」「演奏あり」「劇あり」と楽しんでいただきながら「失語症」者への理解を訴えていきます。

#### 分科会④ 高齢社会に生きる

**報告者** 江坂 道雄さん(篠山市大芋活性化委員会事務局長)  
**テーマ** 高齢社会をいきいきと心豊かに生きる

高齢化が進む地域で、地域課題に向き合いながら「一人でも多くの人に笑顔」との思いで、地域の人々と共に活動されている人がいます。そこでの生活に高齢者の心豊かな生き方が見えてきます。「ここに住んで良かった」と思える地域づくり、また、みんなの人権が守られ、元気にいきいき生きることの大切さを一緒に考えてみませんか。

#### 分科会⑥ 男女共生について考える

**報告者** 三谷 文夫さん(社会保険労務士)  
**テーマ** 共に働くよこびを～人を大切にすること～

近年、職場において「セクハラ」「パワハラ」「ブラック企業」等、マイナスイメージの言葉をよく聞きます。企業、職場は本来、力を合わせて人々の幸せのために社会に貢献し、その喜びを分かち合う場ではないでしょうか。法律あるいは施策は数々あるものの、これだけではなかなか解決が難しいのが現状のように感じます。やはり根底にあるお互い人を大切に尊重する意識が解決のための糸口ではないかと考えます。  
現在の雇用の問題点や働く人々の人権などを合わせてお話を聴き、上下関係、男女の違い、あるいはハンディキャップの有無を乗り越え働く喜びというものを参加者のみなさんと考えたいと思います。

#### 分科会② 部落問題について考える

**報告者** 石井 真澄・千晶さんご夫妻  
**テーマ** 差別の現実から学ぶ～結婚差別を通して～

「差別はいけない」ということが分かっているにもかかわらず、差別をしてしまう人がいます。差別をしているにもかかわらず、そのことに気がついていない人もいます。部落問題に関しては、それを自分の問題として捉えている人は少ないかもしれません。現実起こっている具体的な差別を通して、差別の醜さを感じ取り、差別することは、結局は自分に不利益をもたらすことであり、差別について考えることが、自分の生き方にプラスになるということ、そして差別を無くそうとする生き方が、かっよく素敵であるということ、参加者のみなさんと改めて考えていきたいです。

#### 分科会③ 多文化共生と人権

**報告者** 市内在住外国籍のみなさん  
**テーマ** 外国籍の人々が日々どのようなことを思い、考えて生活しているか、まず知るところから始めましょう

「三田(日本)に住んでみてどうですか?」家庭で、会社で、また地域で…。母国との違いや日常生活で戸惑ったこと、驚いたことなどを、外国籍の人々にお話しをしていただきます。その上で、もっと外国籍の人々と分かりあい、仲良くするためには何が大切で必要なのか、参加者のみなさんと一緒に考えます。

#### 分科会⑤ 子どもと人権

**報告者** 市内中学 3 年生の生徒 2 人  
**テーマ** 子どもの声を聴こう～大切なことを見失わないために～

2 人の中学 3 年生が、日々の思いを込めた人権作文を発表してくれます。瑞々しいことばひとつひとつに耳を傾けてみましょう。そして「いい作文だ!」から一歩踏み込んで、自分自身をふりかえりながら語り合ってみましょう。人が人として幸せに生きるために、大切なことを見失わないように。

#### 分科会⑦ いのち・つながる

**報告者** 古田 晴彦さん(関西学院高等部教諭)  
**テーマ** 「死」を見つめることから「生」を考える～「生と死」を考える授業の実践から～

あなたは、自分の身近にいる子どもたちに「いのちは大切だ」「人をころしてはいけない」という当たり前のように思える命題をどのように説明しますか。人生には必ず終わりが来ます。いつ、どこで、どのような順番でどのようなことになるかは分からないけれども、全ての人の命は有限です。「死」とその周辺で起こることをしっかり見つめること、そこからスタートしないと「いのちを大切に」は説得力を持ちません。死の疑似体験や模擬授業を受けて、限りある自他の「いのち」について、一緒に考えてみましょう。

人権に関する総合相談窓口…月～金曜(祝日除く) 9 時～17 時(559-5062 FAX 559-5063)  
女性のための相談…問い合わせは、まちづくり協働センター男女共同参画担当(563-8000 FAX 563-8001)